



「鉱物鑑定検定」実施要項

主 旨

地学および地球科学の振興を目的として、鉱物についての知識普及と鑑定能力の向上を図る検定を実施する。鉱物は固体地球を構成する最小単位であり、地学についての理解を深める上で鉱物の知識は不可欠である。また、特に野外における調査研究活動において、鉱物を肉眼で鑑定する能力は地学上の情報を得る上できわめて重要である。鉱物鑑定検定の受検や、技能レベルの向上を目指す講習会を受講することを通し、多くの方々が鉱物やそれを取り巻く自然に触れ親しみ、自然科学の楽しさに啓発されることを期待する。

1. 受検資格

- ・ 原則 小学3年生以上。(1人で受検できること)
- ・ 最初は「鉱物鑑定8級検定」から受検し、合格した者のみ次の級を受検することができる。
- ・ 飛び級や併願は認めない。

2. 「鉱物鑑定検定」の内容と合格基準

- ・ 鉱物鑑定士による講習会后、休憩をはさみ、「鉱物鑑定検定」を行う。1～5級は講習会なし。
- ・ 講習会は、「鉱物鑑定基準鉱物」に基づく「鉱物鑑定検定」の内容を中心にして行う。

以下の合格基準により、それぞれの級の合格とする。

級	出 題	「鉱物鑑定検定」の 内 容	合格基準	講習時間	検定時間
	文章による問題 50点	・ 鉱物種とは何か ・ 8級の鉱物鑑定基準鉱物について			
	実技(肉眼鑑定) 50点	・ 8級の鉱物鑑定基準鉱物(23種)			
	文章による問題 50点	・ 8級までの内容 ・ 7～8級の鉱物鑑定基準鉱物について ・ 鉱物の観察方法と採集方法 ・ 鉱物の性質(硬度・比重・へき開・蛍光など)			
	実技(肉眼鑑定) 50点	・ 7～8級の鉱物鑑定基準鉱物(57種)			
	文章による問題 50点	・ 7級までの内容 ・ 6～8級の鉱物鑑定基準鉱物について ・ 鉱物の磁性・放射性 ・ 鉱物の化学組成・結晶系・結晶形態・酸に対する反応など ・ 鉱物産地の地質状態と産出鉱物 ・ 化学組成式や化学組成による分類			
	実技(肉眼鑑定) 50点	・ 6～8級の鉱物鑑定基準鉱物(108種)			
	文章による問題 50点	・ 6級までの内容 ・ 5～8級の鉱物鑑定基準鉱物について ・ 鉱物の英名 ・ 日本の有名鉱物産地と産出鉱物			
	実技(肉眼鑑定) 50点	・ 5～8級の鉱物鑑定基準鉱物(161種)			
	文章による問題 50点	・ 5級までの内容 ・ 4～8級の鉱物鑑定基準鉱物について ・ 鉱物学的な知識・鉱物標本の管理の仕方			
	実技(肉眼鑑定) 50点	・ 4～8級の鉱物鑑定基準鉱物(213種)			
	文章による問題 30点	・ 4級までの内容 ・ 4～8級の鉱物鑑定基準鉱物について ・ 鉱物種全般についての鉱物学的な知識			
	実技(肉眼鑑定) 70点	・ 4～8級の鉱物鑑定基準鉱物及び 肉眼で識別できる範囲での鉱物種全般			
2	実技及び論述問題	出題された標本に対する肉眼鑑定と論述	70/100点以上	なし	60分間
1	実技及び論述問題	出題された標本に対する肉眼鑑定と論述	70/100点以上	なし	60分間

3. 鉱物鑑定基準鉱物表

* 鉱物グループ名 () はグループ内の鉱物が上の級で出る鉱物

分類 \ 級	8 級	7 級	6 級	5 級	4 級
元素鉱物	自然金 石墨 自然硫黄	自然銅 自然銀	自然水銀 ダイヤモンド	自然蒼鉛	自然砒 自然テルル
硫化鉱物 砒化鉱物	閃亜鉛鉱 黄銅鉱 方鉛鉱 辰砂 黄鉄鉱	斑銅鉱 輝安鉱 硫砒鉄鉱 輝水鉛鉱	四面銅鉱* 磁硫鉄鉱 バルチェ鉱 鶏冠石 石黄	硫カドミウム鉱 紅砒ニッケル鉱 針ニッケル鉱 銅藍 輝蒼鉛鉱 輝コバルト鉱 白鉄鉱 濃紅銀鉱と淡紅銀鉱	輝銅鉱とジュールレ鉱 針銀鉱 閃マンガン鉱 黄錫鉱 硫砒銅鉱 キューバ鉱 車骨鉱 毛鉱
酸化鉱物	磁鉄鉱 石英 オパール	コランダム 赤鉄鉱 ルチル 錫石	赤銅鉱 苦土スピネル チタン鉄鉱 銳錐石 板チタン石 フェルグソン石* 鉄重石	緑マンガングル ヤコブス鉱 クロム苦土鉱と、 クロム鉄鉱 ハウスマン鉱 鱗珪石 クリストバル石 二酸化マンガングル* ブルース石 針鉄鉱	鉄スピネル 金緑石 パイロファン石 コルンブ石* 閃ウラン鉱 ギブス石 ダイアスポア 水マンガングル
ハロゲン化鉱物	螢石		岩塩	アタカマ鉱	
炭酸塩鉱物	方解石 藍銅鉱 孔雀石	アラレ石	菱苦土石 菱マンガングル 苦灰石 白鉛鉱	菱亜鉛鉱 菱鉄鉱	水苦土石 アルチニー石
硫酸塩鉱物 タンガステン酸塩鉱物 モリブデン酸塩鉱物 クロム酸塩鉱物	石膏	重晶石 灰重石	硬石膏 天青石 硫酸鉛鉱	プロシヤン銅鉱 青鉛鉱 モリブデン鉛鉱	明礬石 鉄明礬石 紅鉛鉱
燐酸塩鉱物 砒酸塩鉱物 バナジン酸塩鉱物		燐灰石* 藍鉄鉱	緑鉛鉱 ミメット鉱 バナジン鉛鉱 燐銅ウラン石 燐灰ウラン石	ゼノタイム* モナズ石* スコロド石 コバルト華	オリーブ銅鉱 アダム鉱 斜開銅鉱 銀星石 トルコ石
珪酸塩鉱物	(カンラン石*) (ザクロ石*) トバズ (輝石*) (角閃石*) (雲母*) (長石*)	苦土カンラン石 鉄カンラン石 ジルコン 珪線石 紅柱石 藍晶石 緑柱石 リチア電気石 鉄電気石 透輝石 灰鉄輝石 ヒスイ輝石 普通輝石 普通角閃石* 珪灰石 白雲母 黒雲母* カリ長石* (斜長石*)	鉄礬ザクロ石 マンガングルザクロ石 灰礬ザクロ石 灰鉄ザクロ石 十字石 チタン石 異極鉱 斜灰簾石と灰簾石 緑簾石 紅簾石 褐簾石 ベスブ石 斧石* 堇青石 透閃石 緑閃石 葡萄石 魚眼石* 滑石 リチア雲母* 珪孔雀石 曹長石 灰長石	テフロ石 ブラウン鉱 ダトー石 ガドリ石* 珪灰鉄鉱 頑火輝石 リチア輝石 バラ輝石と、 パノクスマン石 イネス石 緑泥石* 蛇紋石* 方ソーダ石 ラズライト 方沸石 ダンブリ石 柱石* ソーダ沸石 濁沸石 輝沸石* 束沸石* 十字沸石* 菱沸石*	珪亜鉛鉱 苦礬ザクロ石 灰クロムザクロ石 斜ヒューム石 スパース デュモルチ石 ローソン石 パンペリー石* ズニ石 苦土電気石 大隅石* 翠銅鉱 ヨハンセン輝石 エジリン 藍閃石 ベクトライト 真珠雲母 葉ロウ石 スティルプノメレン カリオピライト 白榴石 カスミ石 ペタル石
合計数	17 + (6)	33 + (1)	51	53	52

表改定 2013年4月1日

4. 「鉱物鑑定検定」の日程（予定）

実施月	検定会場	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級
4月下旬	石ふしぎ大発見展大阪ショー	○	○	○	○	○	○		
6月上旬	東京 上智大学			○	○	○	○		
8月下旬	名古屋ミネラルショー	○	○	○	○	○	○		
10月上旬	石ふしぎ大発見展京都ショー	○	○	○	○	○	○		
12月上旬	東京ミネラルショー	○	○						
1月下旬	(公財) 益富地学会館							○	○

5. 鉱物鑑定検定の検定料（消費税を含む）

・ 鉱物鑑定検定の検定料は、以下の通りである。

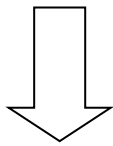
等級	鉱物鑑定検定料
8級	¥3,000-
7級	¥3,000-
6級	¥3,000-
5級	¥5,000-
4級	¥5,000-
3級	¥10,000-
2級	¥5,000-
1級	¥5,000-

6. 鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の認定

・ 別紙『鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補 認定基準』を参照のこと。

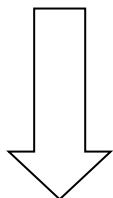
7. 『鉱物鑑定検定』の出願・受検・認定までの手続き

出願申込書の請求



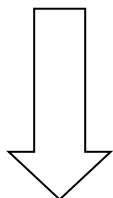
- ・ 規定の出願申込書と資料を益富地学会館に請求してください。
- ・ 検定日の約1ヶ月前より、ホームページからもダウンロード可能です。

出願申込書に記入・益富地学会館へ提出



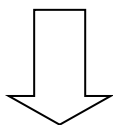
- ・ 規定の出願申込書に記入し、郵送もしくは FAX やメール添付でご提出ください。出願期間は、**検定日の約1ヶ月前から10日前まで**です。各回の検定日，出願締切日は、決まり次第ホームページ等でお知らせします。8級のみ、定員に空きがある場合は、当日のお申込みも可能です。ただし、定員になり次第締め切ります。

受検票の受取



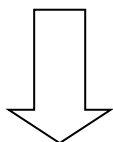
- ・ 受検票は、検定日の約1週間前までに一括して発送します。
- ・ 検定日の5日前になっても受検票が届かない場合は、益富地学会館へご連絡ください。

『鉱物鑑定検定』の当日



- ・ 検定料は、検定当日に鉱物鑑定検定会場入口に設置する検定受付でお支払いください。

結果と合否通知の受取



- ・ 検定日から、約2週間後に合否通知が郵送で届きます。

益富地学会館が認定する鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の認定をご希望の方は、規定の認定申請書にて申請

- ・ 認定申請は、検定合格から1年以内が望ましい。
- ・ 詳しくは別紙『鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補 認定基準』をご参照ください。

8. 当日の持ち物

- ・受検票 ・ 鉱物鑑定検定料 ・ 筆記用具 ・ ルーペ（8～10倍）
- ・ 7級・8級は、参考書と基準鉱物表の持ち込みが可能
- ・ 4級・5級・6級は、受検会場で基準鉱物表を再配布

9. 参考書

受検者には、下記の書籍を推薦しています。益富地学会館やホームページでも販売しています。

- ・白川書院 『必携 鉱物鑑定図鑑』 監修：益富地学会館
- ・ナツメ社 『史上最強カラー図解 鉱物・宝石のすべてがわかる本』
- ・保育社 『検索入門 鉱物・岩石』
- ・学研 『ポケット版 学研の図鑑7 鉱物・岩石』 ← **初心者向き**

10. 『鉱物鑑定検定』を受検するにあたっての注意

下記に該当する行為をした受検者は、その場で退場・失格とし、答案の採点はいたしません。
不正行為が合格・認定後に判明した場合は、その合格・認定を取り消し、以後の受検を断る場合があります。

- ・本人以外が受検する。
- ・『鉱物鑑定検定』の講師等の指示に従わない。
- ・他の受検者に迷惑をかける。
- ・携帯電話などを使用する。
- ・カメラや録音機器などを使用する。
- ・答案用紙の持ち出しをする。
- ・『講習会』や『鉱物鑑定検定』中に、無断で退席する。
- ・その他の不正行為。

11. 個人情報の取り扱いについて

益富地学会館が実施する『鉱物鑑定検定』の申込によって取得した個人情報は、当該『鉱物鑑定検定』の実施、検定結果の送付や鉱物鑑定士・鉱物鑑定士補の当該認定目的の遂行に必要な範囲で使用する。

『鉱物鑑定検定』の業務に関して得た個人情報は、原則として公開しない。
但し、以下に該当する場合は本人の同意なく当該第三者に情報の提供をすることがある。

1. 法令に基づき、警察、裁判所等の国や地方の諸機関より、個人情報の開示が求められた場合
2. (公財)益富地学会館の権利や財産を保護するために開示が必要な場合
3. その他、正当な事由がある場合

本検定の出願申込者は、上記の事項について同意しているものとみなす。

12. 『鉱物鑑定検定』の出願申込に関する問合せ

(公財) 益富地学会館

〒602-8012 京都市上京区出水通烏丸西入 中出水町394
TEL: 075-441-3280 Fax: 075-441-6897
<http://www.masutomi.or.jp> E-mail: info@masutomi.or.jp

Q & A 申込する前に・・・

Q 1. 初めて受検します。何級から受ければいいですか？

初めての方は、8級から受検していただきます。

合格すれば『鉱物鑑定士補8級』、不合格のときは、講習会を受けたことで『鉱物鑑定士補9級』が認定されます。

Q 2. 初心者でも大丈夫ですか？

『鉱物鑑定検定8級』は、初心者向けですので最近鉱物に興味を持ち始められた方は大歓迎です。

検定前の講習会で、8級基準鉱物の現物を見せながら詳しく説明をしますので初めての方も大丈夫です。

もしも事前学習をされるのであれば、鉱物鑑定検定実施要綱内の『鉱物鑑定基準鉱物表』の鉱物を図鑑などで調べておいてください。

Q 3. 小学生でも受検できますか？

高学年なら大丈夫です。原則として低学年（1，2年生）は、お断りしています。

3年生くらいのお子さんでも問題の漢字や意味が難しいかもしれませんが。読めない漢字は、講師に質問をしてもらえれば、読み方のみ、お答えします。保護者の付き添いはできませんので、1人で受検していただくこととなります。そういうことができるお子さんでしたら、受検していただいてもかまいません。

Q 4. 講習会だけを受けることはできますか？

講習会のみは、お断りしています。

Q 5. だいたいどれくらいの時間がかかりますか？

講習会と検定でだいたい3時間くらいです。8級の場合、講習会が2時間、休憩をはさみ検定を行います。

検定は、できた人から答案を提出して帰っていただきますので、早い方だと10分くらいで終わられる場合もあります。

Q 6. どのような検定ですか？

各級に基準鉱物があり、その級の鉱物の肉眼鑑定ができるようになるための検定です。

『鉱物鑑定検定』には、文章による問題と実技（肉眼鑑定）があります。

Q 7. 問題集や参考書はありますか？

問題集はありませんが、参考図書として紹介している本はあります。書籍名はこの実施要項5ページ目

『8.参考書』に掲載しています。なかでも『鉱物鑑定図鑑』は、鉱物鑑定士が書いている本ですので上級を目指す方には特にお勧めします。

Q 8. ルーペは必要ですか？

ルーペは、これから鉱物を学習する上で必要なものです。**当日貸出用がありますが**、ご自分用のものを持っておかれることをお勧めします。益富地学会館でも販売しております。

Q 9. 7級からの受検は可能ですか？

7級は、8級を認定されてから受検してください。上記1の受検資格をご覧ください。

Q 10. 結果はいつごろ届きますか？

結果は、受検後2週間くらいで郵送いたします。但し、年末の東京での受検結果は、年明けになることがあります。

Q 11. 出願申込受付はいつからですか？

鉱物鑑定検定日の1ヶ月前から受付開始し、検定日の約10日前（規定の出願申込書必着）まで受付していただきます。必ず申し込みの期間内に申込書を提出してください。定員に達していなければ、8級のみ当日でも受付できます。詳しくは、ホームページをご覧ください。益富地学会館にお問い合わせください。



鉱物鑑定検定 出願申込書

事務使用欄
NO.

申込方法： 空欄に必要事項をご記入の上、郵送または FAX や Eメール添付にてお申込みください。

この出願申込書の提出をもって、正式な申込と致します。

合否

*は必須項目

() 年 () 月 () 日実施の 『鉱物鑑定検定 () 級』の受検を申し込みます。						
* 検定会場 (○をつけてください)	石 大	ふ し ぎ 阪	上 智 大 学	益 地 学 会 富 館	名 古 屋	石 大 京 都 東 京 池 袋
登録番号	初めて8級を受検の方は空欄のままで結構です。					
* フリガナ						
* 氏 名						
* 住 所	〒					
* 電話番号	宜しければ携帯電話番号もご記入下さい。					
FAX 番号						
E-mail	@					
* 生年月日	西暦 年 月 日生まれ () 歳					
現在の合格級	級					
その級を受検した年月と会場	年 月		会場			

■提出された個人情報は、『鉱物鑑定検定』に関わる業務以外の目的で使用することはありません。

《提出先》(公財) 益富地学会館 鉱物鑑定検定 宛

〒602-8012 京都市上京区出水通烏丸西入 中出水町 394

TEL : 075-441-3280 FAX:075-441-6897 E-mail:info@masutomi.or.jp

事務使用欄

受検日入力	合格級入力	認定級入力